

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 職人がキラリと輝く 大工村の家づくり

グループの名称 特定非営利活動法人 大工村

直近採択グループ番号 06-0582-0436

(グループ代表者)

代表者名	川合 伯員	代表者印
代表者所属先	株式会社カワイ	
代表者所在地	静岡県磐田市合代島1212	
代表者電話番号	05-3962-5656	

(グループ事務局)

事務局事業者名	特定非営利活動法人大工村	
事務局担当者名	伊藤 久道	印
事務局郵便番号	438-0114	
事務局所在地	静岡県磐田市合代島1212	
事務局電話番号	05-3962-5656	
事務局FAX	05-3962-9116	
事務局担当者E-mail	hito0513@kk-kawai.com	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		15	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸	
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟	
					0	m ²	
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟	
					0	m ²	
契約済物件を優先する。期日を決めて申し込みを受ける。1施工事業者1棟までの申請。3世代同居住宅を優先する。それ以外は公開抽選。枠が余っている場合は、2棟目を受け付ける。以下繰り返し。							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)							
E. 平成29年度の執行状況(必須)							
長寿命型(長期優良住宅)							
採択戸数		5	戸	交付申請戸数	5	戸	
完了実績(竣工予定含む)戸数				5	戸		
高度省エネ型(認定低炭素住宅)							
採択戸数		0	戸	交付申請戸数	0	戸	
完了実績(竣工予定含む)戸数				0	戸		
高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)							
採択戸数		0	戸	交付申請戸数	0	戸	
完了実績(竣工予定含む)戸数				0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)							
採択戸数		2	戸	交付申請戸数	2	戸	
完了実績(竣工予定含む)戸数				2	戸		
優良建築物型							
採択棟数		0	棟	交付申請戸数	0	棟	
完了実績(竣工予定含む)棟数				0	棟		
採択床面積		0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	
完了実績(竣工予定含む)床面積				0	m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 職人がキラリと輝く 大工村の家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 特定非営利活動法人 大工村	(結成年) 2008 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0582-0436	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	引き続き、遠州地方特有の冬の強風による冷気流入を減らす努力をしていますが、29年度には夏の気温上昇による暑さ対策をしてきました。これをさらに磨きをかけて日照時間が日本一長いエリアとしての自覚を持ち、夏涼しく冬暖かい空間づくりの工夫をしていく。地域柄、農家が多く広い土地を持っているご家族への3世帯住宅も積極的に進めていく。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	農家が多いこのエリアで3世帯住宅で快適に生活できる工夫をしていく。各世帯が導線や目線を気にすることなく、生活スタイルや時間が違うことにも配慮できるように工夫する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	今まで通り予想される大地震でも倒壊せず、家の中からの避難経路の動線がしっかりした間取りを提案していく。また、ZEHなどへの取り組みをすめつつ、高性能断熱やサッシや機器だけに頼ることなく、自然の風や光などを有効的に取り入れるパッシブデザインにも力を入れて誰にでも手が届く快適な家づくりを進める。そのあたりをサポートしてくれる仲間を加え、今後は定期的に勉強会の開催を目指す。	◎
④①～③の背景	今後高い確率で起こる大地震に対する対策は新築、既存問わず必須です。また、近年の平均気温の上昇や体感気温の体への負担は想像を超えるものになってきました。省エネで快適、耐震性の高い家づくりが求められる中、高嶺の花となつては一般に普及されない家になりかねません。これからは周知を超えて、普及や一般化に向けて地域にあった価格と性能のバランスのとれた誰にでも手が届く家づくりをグループで考えていきます。グループのブランディングをかけていき、一般ユーザー目線で分かりやすい大きな看板を作成しウェブなどを使い告知していく。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	NPO活動として未就学児施設へうかがい、体験型防災訓練を開催し両親や祖父母への防災意識啓蒙も積極的に行うことにより、新築やリフォームをご検討前に耐震に興味を持ってもらっています。また、会員の中には多能工養成施設を開設し、若い世代の人材育成にも力を入れています。仕事づくりと人材育成の啓蒙活動を続けていきます。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 材料供給構成員の在庫の寸法を極力絞り込み共通寸法での家づくりをしている	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 材料供給構成員がグループ推奨商品を積極的に在庫して流通しやすくする	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 材料供給構成員がグループ推奨商品を積極的に在庫して流通しやすくする	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 材料供給構成員がグループ推奨商品を天竜材をはじめ国産材3000㎡以上常に在庫して流通の迅速化と価格の安定をしている。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 大量仕入れ 物流の効率化により仕入れ先を絞りつつ安価な材料を使うことで管理コストを下げる努力を続けている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局を中心に使用されている㎡数の把握をし、製材所と情報を共有しながら効率的な生産に努めている。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅グリーン化事業がすすめる家づくりを1社でも多くの元請け業者が受注しやすい環境づくりを行う。また、仕様や申請など熟知した設計者を1社でも多く迎え入れ役割分担を明確にした家づくりができるグループ作りをしていく。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 適切な施工方法も情報共有や現場での事故やクレーム情報などをグループ内で共有する	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵保険の自己チェックシートの活用を推奨する。事務局が中心となり施工中の現場検査を行い、結果を共有し現場力の向上を目指す。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築主が分かりやすい見積もり作成をし、一式の合計金額のみの提示は極力なくす。建築主が分かりにくいと思われるものに関してはカタログや追加資料などを用意していく。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地元業者の強みを生かし、顔を合わせ機会を増やすイベントを開催しています。ターゲット層が多く集まる場所で構成員との触れ合いや家作り体験を通してより深い接点の機会を増やしています。定期開催により信用を積み重ねています。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: グループとして議題にあげたことがありませんでした。今後の検討事項とします。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職人の技術に合わせた現場の紹介をしています	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各会社が対応	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: グループとして議題にあげたことがありませんでした。今後の検討事項とします。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	会員は年間最低3日社会貢献を通じて事前防災の啓蒙活動をしています。家を建てる、直す世代にターゲットを絞って、効率的に地震に強い家づくりの情報を発信することにより、事前防災力を高めていく。 今期中に高耐震 高性能住宅に住むユーザーを紹介するサイト(ウェブ SNSなど)を開設して次の世代へつなげていく。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 職人がキラリと輝く 大工村の家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 特定非営利活動法人 大工村	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0582-0436	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各自の維持管理計画書にて定期的な点検を実施していく	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で情報機関の利用状況などを情報交換して活用している	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の情報交換システムを使い情報共有する	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅の点検基準に沿って行う	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各自維持管理計画書に定められたように行う	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: アンケート 聞き取りなどにより確認する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年9回程度イベントにてOB施主様中心にメンテナンス相談会を行っております	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年9回程度DIY-studioを活用しワークショップなど手作りを通じて無垢の木に触れていただくイベントを開催中です	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心に委員会等の設置を協議する	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局はOB名簿を取得し、速やかに今後のメンテナンス先をマッチングする。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 大手に負けない60年保証に向けての専門家セミナー開催	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	自然素材で長期にわたり防腐や防蟻効果が続くホウ酸などを壁に隠れてしまう木部になるべく多く採用を検討する。 現場での工期短縮につながる工法を積極的に使っていく。		◎	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計構成員との協力体制を強化していく	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループルールはもとより制度や法律を順守して行う	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当構成員の設計技術者講習受講者が抜き打ちで現場を検査する	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年までに長期 ゼロエネ 未経験ゼロを目指す	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工技術者講習技術者を85%に引き上げる	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 生産性と効率が高い仕組みをグループ内からはもちろん、グループ外からも積極的に取り入れて共有していく。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 23 今年度の参加目標人数 10
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 3 今年度の参加目標人数 15	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未取得者を把握して講習会の日程を案内して参加してもらう	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工期短縮と高性能化が職人の経験に左右されないで実現できる商品を導入	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新たな技術や商品に柔軟に対応できる多能工育成学校(ハウスリフォーマー育成学院)を開講させたので、生徒を増やしていく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	自然素材で長期にわたり防腐や防蟻効果が続くホウ酸などを壁に隠れてしまう木部になるべく多く採用を検討する 人材育成や新規採用に力を入れて、今までの工程概念を捨て、新しいスタンダードに適應できる会社に時代に合わせて変化する努力を全会員でしていく。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 職人がキラリと輝く 大工村の家づくり	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 特定非営利活動法人 大工村	(結成年) 2008 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0582-0436														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材は無垢の合法木材を使用する。ただし、材の強度・コスト・納期・品質などを考慮して積層の合法木材も可とする。流通構成員は、地域材を積極的に在庫し、施工構成員に使用のはたらきかけをする。	◎												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	◎												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	原木供給⇒製材・集成・合板製造⇒流通⇒プレカット⇒流通⇒施工 ※合法木材認定を受けた流通業者の証明書類で証明する。 ※施工構成員が、手加工をする場合、上記のプレカットを省く場合がある。 ※原木供給が、海外であったり、国有林であったりする場合、原木供給の構成員には含まず、流通もしくは、製材グループに所属する構成員の合法性により証明する。 ※一部、製材・集成・合板製造から、プレカットに流れる地域材もあるため、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通・プレカットが在庫する。流通より製材に定期的に確認する	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通より施工に、定期的に価格を伝える。著し変動がある場合は、都度連絡する	◎												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局がヒヤリングしている	◎												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室 真壁の家づくりを推奨する	◎												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 日本の和瓦を推奨する	◎												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室がある場合は推奨する	◎												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室がある場合は推奨する	◎												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ふすまがある場合には掛川特産の葛布の採用を推奨する	◎												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建築以外の業界との意見交換を積極的に行い地元の伝統を家に生かすことを推奨する	◎												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材を積極的に使用するように推奨する。	◎												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループと地域の方の交流の場を設ける	◎												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 周辺の建物 デザイン 環境にあった仕様の家づくりを推奨する	◎												
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: お雛様や五月人形を飾るにしても床の間や畳が少しでもあった方がいいことや、若い層から支持される新和風の和室の提案を心がける。	◎												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	会員の材木販売店では年間9回程度、材木倉庫の見学会を開催して、木を使った家づくり、特に真壁の家づくりに興味を持つ家族との接点を増やしています。目や手に触れるところに材木を使い、その材は手加工により技術の継承にもつながるように努力して行く。	○												
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
東日本大震災の復興に資する取組	風化させないために行われる地域のイベントに積極的に参加、協賛していく。	◎													
平成28年熊本地震の復興に資する取組	風化させないために行われる地域のイベントに積極的に参加、協賛していく。	◎													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 職人がキラリと輝く 大工村の家づくり	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 静岡県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 特定非営利活動法人 大工村	<small>(結成年)</small> 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0582-0436	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
私たちグループは、主に静岡県西部地区を中心に活動しています。 この地域は、温暖な地域です。しかし、冬には風が強く体感温度は低く感じられます。 そのため、住宅の基本性能である温熱性能を高める家づくりをします。 ゼロエネルギー住宅では、必達値を上回る、0.59W/m ² ・Kを目標値とします。 そして、設備機器の性能の良いものを採用することで、CO ₂ の排出を削減します。エネルギー削減率25%以上 またこの地域は、日照率も高いため太陽光発電システムに適しています。 太陽光発電システムを適量搭載することで、年間の1次エネルギー消費量がおおむねゼロになる家づくりを目指します。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。